

お互い様で 助け合える あったかいまち

# 福祉 ほうだつしみず



今号の表紙

## 目次

- 2…民生委員ってなに？ 仕事はどんなこと？
- 2…第15回宝達志水町社会福祉大会開催のお知らせ
- 3…赤い羽根共同募金運動には2種類あります
- 3…認定こども園の運動会の様子を紹介します！
- 4…住民がつなぐ地域の輪in宝達志水町
- 5…食品がつなぐ地域の輪in宝達志水町
- 5…ご寄付ありがとうございます
- 5…町内福祉団体活動紹介
- 6…老人福祉センター「宝寿荘」
- 6…宝達志水町社会福祉協議会居宅介護支援事業所です
- 7…押水デイサービスだより
- 7…傾聴ボランティア「こだま会」さんに来てもらいました
- 8…「宝達志水町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定するためのアンケート調査集計結果②

南部保育所「運動会 5歳児の様子」 → 関連記事3ページ



この広報紙は、発行費の一部に「共同募金の配分金」を受けて発行しています。

# 民生委員ってなに？

# 仕事はどんなこと？

宝達志水町民生・児童委員協議会

会長 中村 俊夫

「困ったことがあれば近くにいる民生委員に相談してみれば」と言われても、民生委員ってどんな人たちなんだろう、どんな仕事をしているのだろうかという疑問を持たれることも多いのではないのでしょうか。

民生委員について、厚生労働省のホームページでは「民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、『児童委員』を兼ねています。児童委員は地域の子どもたちが元気に安心して暮らせるように、子どもたちを見守り、子育ての不安や妊娠中の心配ごとなどの相談・支援等を行います。また一部の児童委員は児童に関することを専門的に担当する『主任児童委員』の指名を受けています。」と説明しています。

全国には約二十三万人、宝達志水町では五十三名の民生委員・児童委員と四名の主任児童委員の計五十七名が委嘱を受け、担当地区を決めて活動しています。身分的には守秘義務を持った無給の特別公務員で、任期は三年（令和四年十二月に改選されます）となっています。

ほとんどの委員は、皆さんの近くに住んでいるおじさんおばさんで、専門的に社会福祉の勉強などしていないため、委員になってから各種の研修等を受けて委員としての必要な知識を身につけていきます。

昨今の地域では、隣近所のつながりが薄くなり、お互いの顔が見えにくくなっています。そのような状況において、現在の民生委員の仕事は、色々な生活課題に気づき、関係機関と連携して、「ここに住んでいて良かったな」と思ってもらえるように、地域の皆さんの協力を得ながら活動することであると考えています。

第15回

宝達志水町

社会福祉大会

開催のお知らせ

毎年開催している町社会福祉大会については、今年度も新型コロナウイルス感染症の予防のため、大会規模を縮小し、11月に執り行うこととします

長年にわたり地域福祉の推進に献身的に活動を続け、功績が顕著な方々や団体に対して、町社会福祉協議会会長より表彰状を贈呈するとともに、感謝の意を表します。

日時 11月1日(火)  
13:30

会場 町民センター  
アステラス 小ホール

日程 13:00～ 受付  
13:30～ 式典

宝達志水町社会福祉協議会会長表彰



# 赤い羽根共同募金運動には2種類あります

毎年、各集落の区長及び住民、事業所、学校の皆様からあたたかいご支援をいただいております。今回は、共同募金の一般募金と歳末たすけあい募金の違いを紹介します。

## 共同募金の種類

歳末たすけあい募金は、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている方々への見舞金や慰労金として配分されます。募金方法は、各世帯からの封筒募金、企業様からの法人募金・職域募金などがあり、運動期間は12月です。



歳末たすけあい募金とは・・・

一般募金が集まった寄付金は、地域福祉活動推進のため、町内の福祉団体やボランティア団体へ配分されます。募金方法は、区からの募金、学校募金、街頭募金などがあり、運動期間は10月～12月です。

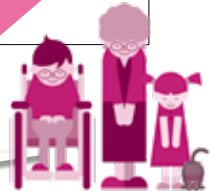
一般募金とは・・・



## 本町のスケジュール

10月	一般募金	歳末たすけあい
11月		歳末募金
12月		

共同募金は皆様方の身近なところで役立てられています。ご協力をよろしくおねがいします!

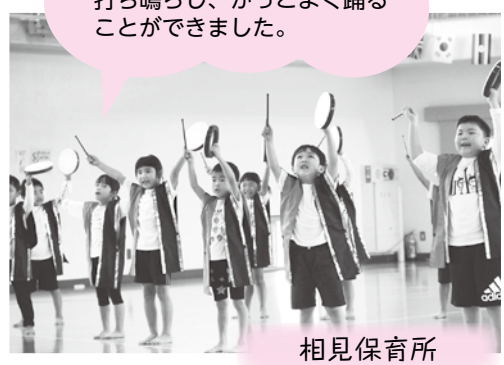


大好きな「ツバメ」の曲に合わせて、力と心をついて踊ることができました。



北大海第一保育所

曲に合わせて一人一人太鼓を打ち鳴らし、かっこよく踊ることができました。



相見保育所

「友よ」の曲に合わせて、マスゲームと組み体操を披露しました。



南部保育所

フラフープを使って踊りました。とても上手に回すことができました。



中央保育所

9月から10月にかけて、町内の認定こども園4か所にて運動会が行われました。観覧席からの応援を力に変えて、元気いっぱい頑張りました!

認定こども園の運動会の様子を紹介します!



## コロナ禍でも、 様々な形で地域を支えている方々の 取り組みをご紹介します!



### 参加者主体の

### らく～な体操教室 in 柳瀬会館

柳瀬会館では、ボランティア団体の地域福祉活動グループ福娘が毎週金曜日に体操教室を行っています。参加者は毎回12～15名。コロナ禍で活動を休止したこともありましたが、昨年10月に活動を再開してからは、ほぼ休むことなく教室を続けています。体操教室を行うにあたっては、検温・換気・ソーシャルディスタンスの確保など、感染対策を徹底しています。

再開当初は、大型テレビでラジオ体操などを映し、参加者が映像に合わせて体操をしていましたが、参加者の皆さん一人ひとりが、週1回の体操の大切さを感じていること、そして、自分たちで体操教室を盛り上げていきたいという思いにより、次第に主体的に活動されるようになりました。現在は、参加者であり世話人でもある、大鍋智代子さん、砂山洋子さん、石尾勝さん、土上正美さんがそれぞれ、指体操、タオル体操、ゴム体操の講師となり、全6種類のメニューを1時間強の時間を使って行っています。

福娘の代表である東野徳得さんは、「コロナ禍でも活動を続けてこられたのは、参加者のみなさんが体操教室を心待ちにしてくれているからです。みなさんが積極的に動いてくださるので、らく～な体操は継続していけるのだと思います。」とお話されていました。



## SDGsで集落に活気を! 伊藤英雄さんの挑戦

(左) 自宅敷地内に  
風車を飾っている  
伊藤英雄さん。

荻市地内に突如現れる約20メートルにおよぶ風車の道。製作者は荻市在住の伊藤英雄さん(68歳)。コロナ禍の中で仕事をリタイアし、どこにも行けず浜辺で桜貝を拾っていた時、海岸に落ちていたペットボトルなどのゴミの多さに驚き、何か再利用できないかと考え風車を作ってみたのがきっかけ。昨年度は約1,300個の風車を作り、今年はずでに約1,700個を作成済み。自宅敷地内に飾り見事な風車の道が出来上がりました。「制作を続けることが自分の健康につながり、見に来る人に癒しを提供し、さらにはそれが荻市の活性化につながれば嬉しい」と話されています。また、「作り方を知りたい方がいれば教えるよ」とも気さくに話されており、地域サロンや老人クラブ活動等で風車の作り方を教わりたい方は社会福祉協議会までお申し出ください。







## 第2回フードドライブ(食品のご寄付)事業にご協力いただきありがとうございました!

8月30日～9月16日まで、フードドライブ(食品のご寄付)事業として、町内の皆様にご寄付を募ったところ、たくさんの皆様からご協力いただきました。ご寄付いただいた食品は、支援を必要としている方へお渡しします。ご協力ありがとうございました。

### ご協力いただいた皆様のご紹介

町内の皆様 計 26 名

#### 協力団体

大智株式会社  
北陸電力七尾支店

(50 音順)

### フードドライブのご報告

① お米	2010kg
② お菓子	2品
③ 調味料	15品
④ インスタント・レトルト食品	17品
⑤ 乾麺	7品
⑥ 飲料	81品
⑦ 乾物	5品
⑧ 缶詰	253品
⑨ 乳幼児食・介護食	1品

お米計 2010kg 食料品計 381品



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

## 町内福祉団体活動紹介



### 宝達志水町身体障害者福祉協会

令和4年9月17日(土)「第13回石川県障害者フライングディスク競技大会」が宝達志水町総合体育館多目的グラウンドで開催され、県内各地より65名の選手が参加しました。



町身体障害者福祉協会では、1年を通して様々な活動を行っています。町内にお住まいの身体障害者手帳をお持ちの方ならどなたでも会員になることができます。

お気軽にお問い合わせください。[TEL: 28-5520]

ご寄付いただき  
ありがとうございました



宝達志水町グラウンドゴルフ協会様より、第4回業務スーパー杯でのホールインワン基金として、宝達志水町社会福祉協議会へ御寄付をいただきました。ご支援ありがとうございました。

宝寿荘は ①健康づくり ②生きがいづくり ③仲間づくり を応援する憩いの場です。

# 老人福祉センター「宝寿荘」

☎ 28-4506



## 100歳 おめでとうございます 元気なご長寿を紹介します!!

藤井カツさんにインタビューです。

問1：好きな食べ物は何か？

答1：果物（その時の旬のものを）、朝はパンにジャムやバターと牛乳は欠かさず。自宅で私だけパン食。（笑）

問2：元気でいる秘訣は何ですか？

答2：宝寿荘での健康教室と、趣味の畑です。白菜とホウレンソウを植えました。家族は畑を辞めたら？といいますが、野放し状態です。（笑）  
歩くこと、体を動かすこと、身だしなみに気をつけること。

問3：好きな言葉はありますか？

答3：「元気でらんかね。」とお友達と声を掛け合うことです。



藤井 カツ さん（走入在住）  
大正 11 年 10 月 31 日生（100 歳）

栃木県出身で東京住まいだったが、戦争で焼け野原となったため、ご主人の故郷である走入へ移り住む。4人の子を授かる。皆さんに喜んでもらった和裁は90歳まで営んだ。

週3回、宝寿荘の健康教室に通うカツさんは、背筋もピンと伸びてイキイキとしておいでます。ご苦労された中にも、やさしい笑顔でお話をしてくださいました。いつも私たちに元気をくださる人生の大先輩です。



玄関外廻り改修工事の為、11月7日（月）から30日（水）までの間、閉館します。皆様にはご迷惑をおかけいたしますがご了承下さい。

## 宝達志水町社会福祉協議会居宅介護支援事業所です。

新型コロナウイルスの感染対策を徹底しながら、介護のお悩みや、生活する上での困り事などの相談を受け付けております。

お気軽にご相談してください。

介護のお悩みや、相談、困っていることなど、お気軽にご相談ください

### サービス内容

- ・居宅サービス計画書（ケアプラン）の提案・作成
- ・介護保険や介護に関する相談・助言
- ・保険・医療・福祉・介護サービス事業者と連絡・調整
- ・福祉用具・介護用品のレンタルや購入、住宅改修等に関する相談
- ・介護保険に関する申請代行



離れて暮らす  
両親が心配。

家族の介護に  
ついて相談したい。

どんな福祉サー  
ビスが受けられ  
るか知りたい。

日々、皆様に寄り添い支援をさせて頂きたい思っておりますので、お気軽にご相談ください。



# 押水デイサービスだより



## 芸術の秋

芸術の秋、皆さんの力を合わせて  
今回も素敵な作品が増えました。次  
は運動の秋か食欲の秋か。一緒にさ  
らに楽しんでいきましょうね☆



はいポーズ☆

綺麗にできたね☆

### 秋の貴婦人

上手くできたでしょ☆

できあがり楽しみ☆

綺麗に並べようね☆



## 傾聴ボランティア「こだま会」さんに来てもらいました。

押水デイサービスセンターでは、令和4年9月から、町内で活動するボランティア団体、傾聴ボランティア「こだま会」さんに来てもらっています。（「傾聴ボランティア」は相手の話に耳を傾け、受容的に、共感的に受け止めることで高齢者の心を癒し、安心感、満足感を抱かせ、生活意欲を向上させる活動です。）



グループ傾聴の様子



1対1でお話している様子



初回は、急にやってきたボランティアの皆さんに戸惑っていた利用者さんも、時間が経つとともに、表情もやわらぎ、ボランティアさん相手に、1対1で熱心にお話をされている方や、グループで談笑する様子が見られました。押水デイサービスセンターでは、今後、月に2回程度からボランティアさんに来ていただき、利用者の皆さんの心のケアに務めていきたいと思ひます。

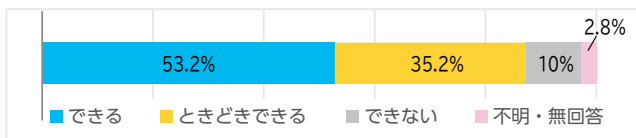
# 「宝達志水町地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定するためのアンケート調査集計結果②

「地域福祉計画・地域福祉活動計画」の策定にあたりアンケート調査を実施したところ、たくさんの回答をいただきました。集計結果の一部を前回に引き続き報告します。アンケートにご協力いただきました住民のみなさま、ありがとうございました。

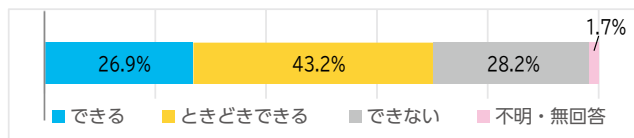
## 地域での暮らしについて

Q. あなたは近所の人困っていて頼まれた時、どのようなことができますか（一つだけ回答）

### 安否確認の声かけ



### 災害時の手助け



## 地域福祉への関心などについて

Q. 私たち一人ひとりが安心して地域で暮らしていくために、町民のひとりとしてあなたはどのようなことができますと考えますか（複数回答）

選 択 項 目	割合 (%)
家族に関する問題は家族や親族など身内でまず解決する	68.8
学校での行事など家族に関係のある範囲内の活動には参加する	34.8
できるだけ地域での出来事に関心を持つ	53.8
近所との交流を盛んにするなど地域の人とのつながりを持つ	32.9
地域活動やボランティア活動に積極的に参加	20.9
困っている人がいたら積極的に声を掛ける	32.5
その他	0.9
わからない	5.6
無回答	3.6

## 地域社会のありかたについて

Q. 全ての町民が住み慣れた地域で安心して暮らせるためにはどのようなことが特に必要だと考えますか（複数回答）

選 択 項 目	割合 (%)
身近な所で日常生活に関する相談窓口の整備	35.0
地域の人交流できる場や地域課題について語り合える機会づくり	21.2
支援を必要とする人を早期に発見するためのネットワークづくりや見守り体制の整備	31.0
在宅福祉サービスの充実	31.8
支援が必要な人へのサポート体制の充実	46.2
福祉に関する情報提供の充実	20.5
公共施設・道路・交通機関の改善	20.7
地域活動や地域福祉活動への公的援助の充実	15.8
地域活動や地域福祉活動を担う人材の育成	19.4
福祉教育の充実	7.1
その他	1.9
特にない	7.5

## 自由意見（※一部のみ抜粋）

アンケートで初めて福祉活動内容を知った。安心して暮らせるまちづくりを願う。	加齢とともに身体の衰えが目に見える現状。安心して地域で暮らせるよう支えてほしい。福祉の推進を願う。
自分に協力できることがあれば役に立ちたい	高齢者が増えるため交通手段や移動販売の充実を考えてほしい
ストレスや悩みごとを気軽に聞いてもらえる人や、見守ってくれる人がほしい	福祉は他人事ではなく自分の身に引き当てて考え、小さなやさしさを忘れないこと
高校生でも活動できるボランティアグループを作してほしい	できることを少しずつ続けることが大切
買い物する場所が増えれば車のない人も住みやすくなる	将来、地域福祉に関わる仕事に就きたい。このようなアンケートは今後の地域のあり方について深く考える機会となった
アンケート分析結果を確実に活かしてほしい	

紙面の都合上、一部の集計のみを掲載しております。各項目の詳細については、町社協公式ホームページ (<http://www.houshi-shakyo.or.jp/contact.html>) にて公開しております。